

かごしまの「食」を発信！！

「新しい生活様式」に対応したPRに挑戦

新型コロナウイルス感染症の影響により、三密を避けるため、これまで主流だった試食宣伝販売などの店頭でのPRが難しくなっています。

2021年2月、鹿児島県は、県内の量販店と協力し、新しい生活様式に対応した県産農畜産物の新たな店頭PRの方法を実践する取組を行いました。

4つのPR方法、あなたは体験しましたか？



① オリジナルPR動画の放映



② ヒト型ロボットを活用したPR



③ 3Dアバターによる
オンライン店頭デモ



④ マネキン販売員による
オンライン店頭デモ

「かごしまの食ウェブサイト」に新コンテンツ追加

新しいPRツールとしてぜひご活用ください！

「鹿児島県産品画像ダウンロード」



県産農産物29品目の画像を無料でダウンロードできます。
チラシや広告など、オリジナルのPRツールの作成に活用可能！

「たくちゃんが紹介！かごベジフル動画」

2月の店頭PR実践時も大好評！
「たくちゃん」でおなじみ、タレントの野口たくおさんが、かごしまの農産物の魅力を紹介！
申請すれば、イベントやPR等で動画を使用できます。



詳細はこちらを検索 ↓

かごしまの食

検索



かごしまの食ウェブサイト
https://www.kagoshima-shoku.jp

URL : <https://www.kagoshima-shoku.com/>

担当課：かごしまの食ブランド推進室



地域で取り組む食育活動を支援します 「食料産業・6次産業化交付金～地域での食育の推進事業～」

農林水産省では、食文化の継承や農林漁業体験機会の提供、和食給食の普及など、食や農林漁業への理解を深めるための地域で取り組む食育活動を支援しています。

- 国の食育基本計画の目標達成に向けた市町村、民間団体等の食育活動を支援する事業です。
- 都道府県を通じて申請・交付されます。
- 対象経費の1/2以内の額が交付されます。

対象となる取組(例)※下記以外の事業メニューもあります。

食育を推進するリーダーの育成

食育の推進に係るシンポジウム、パネルディスカッション、個人・団体等の優良な取組を共有する展示会など

農林漁業体験機会の提供

農産物の植付や収穫など農林水産業の体験や調理実習など

学校給食における地場産物活用の促進

生産者とのマッチング調査、交流会や地場産物を活用した献立の開発・試食会など

食品ロスの削減

消費者の意識調査や飲食店等と連携した啓発資料作成、セミナーの開催など

地域食文化の継承

親子料理教室やレシピ集の作成など

和食給食の普及

和食給食の献立開発やレシピ集の作成



上記以外のメニューもあります。詳細は農林水産省のHPで確認してください。

<https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/attach/pdf/torikumi-18.pdf>

事業を活用した食育の取組事例

～伊仙町食育推進協議会～

伊仙町食育推進協議会では、親子郷土料理体験や町内の全保育所、幼稚園、小中学校での農業体験、食育シンポジウム、給食レシピコンテストなど多彩な取組を実施し、食育を推進しています。



サタグルマ回し、伝統学ぶ（伊仙町喜念小学校）
～昔ながらの黒糖作り体験～



①

- ①自分たちで育てたばれいしょを使って、好物のピザやじゃがバターを作る中学生。
- ②子どもたちのアイデアが詰まった給食レシピコンテスト。最優秀作品は給食メニューとして味わうことができる。
- ③町民が集う食の文化祭。講演の他、各種展示ワークショップ等が行われる。
- ④園児一人一人が愛情をもって栽培。苦手な野菜も進んで食べる姿が見られた。



②



③



④

担当課：農政課